






6月の植物の育て方



梅雨入り前後の管理

-  6月は梅雨入り前と後で、管理方法が大きく変わります。梅雨入り前は晴れた日が比較的多く、水やりの回数がふえます。たっぷりと水をあたえてください。梅雨入り後は雨の日が多くなり、水やりの回数も少なくなります。
-  梅雨に入ったら、過湿を嫌う種類や雨傷みしやすい種類は、雨の当たらない場所で管理します。また、株が蒸れると病気が発生しやすくなるので、できるだけ風通しのよい場所を選びましょう。

さし木の最適期

-  多くの鉢花にとって、さし木（さし芽）の最適期です。さし木は株をふやすためだけでなく、暑さに弱い種類を元気な苗に更新して夏越しさせるためにも大切な作業です。
-  さし穂は、切り口が凸凹にならないように、鋭利な刃物で一気に切ります。花や蕾があれば取り除き、葉も一部切り取っておきましょう。切り口を傷めないように、つまようじや割り箸などで予め用土に穴をあけてからさし、用土の表面を軽く指で押さえます。
-  上から水をかけるとさし穂が倒れる場合は、底面から吸水させてください。

